

## 【事業実施の方針】

- 1：外国人市民（子どもを含む）への日本語教育ボランティア 2:日本人へのボランティア育成教室  
 3:日本文化の理解を促進する文化交流事業、この3本柱を中心に、学習者と「共に学ぶ」姿勢を大切にして、外国人が社会で、生活しやすくなることを目指して活動する  
 2：働く外国人の日本語学習支援を主としつつも「時間を守る」「防災教育」「公共」についての日本で生活する上での基礎学習の推進及び外国人の抱える問題を専門の解決先に繋ぐ場所としても機能できる場所作りであることを大切にする。

## 外国人市民への日本語教育ボランティア事業 【定款第5条】

- （1）浜松市内の市立小中学校に在籍する日本語指導の必要な児童生徒に対し、生活言語を習得させるために在籍校にて取り出しや入り込みによる日本語・学習支援を行った。

## 【事業実施内容】

## 1：外国人市民への日本語教育ボランティア

① 子ども支援 浜松市委託事業 日本語学習支援	浜松市内の市立小中学校に在籍する日本語指導の必要な児童生徒に対し、生活言語や学習言語を習得させるために、在籍校にて取り出しや入り込みによる日本語・学習支援を行った。 外国人児童、特に小学新1年生は日本生まれ日本育ちが多くなったが学習についていけない児童が昨年に引き続き多かった。			
担当エリア	期日	場所	参加人数	
日本語・学習支援 (旧西・北エリア)	令5年4月～ 令6年3月	平日	11校実施	実数 44名 基礎 42名

② 大人支援 浜松市国際交流 協会 (HICE) 補助金事業 日本語教室	・働いている外国人市民のための日本語教室を週末土曜日夜に33回開催した。 ・外国人大人日本語教室は実数116名が参加した。延べ人数は1311名と昨年度より更に微増した。国際交流協会の部屋を3つともお借りして行った。支援者も大変であったが極力学習機希望者を受け入れた。			
学習者内訳	期日	場所	参加人数	
韓国3名 中国9名 ドイツ1名 インド58名 ペルー2名 ベトナム5名 ネパール2名 スリランカ1名 フィリピン7名 インドネシア22名 南アフリカ1名 ブラジル5名 ミャンマー1名 パキスタン1名 ペルー2名 フランス1名 スペイン1名	令5年4月～ 令6年3月まで	週末	浜松市国際交流協会 (HICE)	実数116名 延べ数1311名 計17カ国

## 2024年度 貸借対照表

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金	15,062	
普通預金	1,542,215	
未収金	21,000	
<b>流動資産合計</b>	<b>1,578,277</b>	
2 固定資産		
<b>固定資産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>		<b>1,578,277</b>
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払い金	42,571	
預り金		
<b>流動負債合計</b>	<b>42,571</b>	
2 固定負債		
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>		
<b>III 正味財産の部</b>		
1 前期繰越正味財産		1,430,511
2 当期正味財産増減額		105,195
<b>正味財産合計</b>		<b>1,535,706</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>1,578,277</b>